

島根県立古代出雲歴史博物館共催 古代出雲の再発見

講師 島根県立古代出雲歴史博物館名誉館長 / 京都大学名誉教授
上田正昭 ほか
開講日 第1土曜日 15:30 ~ 17:00 5月は第5土曜日
受講料 6カ月分 11,340円

『古事記』『日本書紀』にみられる神話の中で、出雲に関係あるものは三分の一以上を占めるといわれています。日本の古代国家が整えられる際に編纂された重要な書に、どうして出雲に関する神話が多いのでしょうか。近年、出雲で次々と発見された弥生時代・古墳時代の考古資料をもとに出雲神話成立の背景を考えます。4月から始まる6カ月講座です。



出雲型子持壺



銅鐸

第1回 4月4日【輝く出雲ブランドー古代出雲の玉作りー】

島根県立古代出雲歴史博物館 主任学芸員 深田 浩
出雲の玉作りは弥生時代に全国でもいち早く開始され、古墳時代には出雲で作られた玉類が列島各地に流通します。古代の豪族たちは、何故こぞって出雲の玉を求めたのでしょうか。出雲の玉作りの変遷をたどり、出雲の玉が全国に与えた影響やその意義を探ります。

第2回 5月30日【青銅の神との出会い 謎の弥生青銅器】

島根県古代文化センター 主任研究員 増田 浩太
荒神谷遺跡から出土した358本もの銅剣や、加茂岩倉遺跡出土の銅鐸39個の発見によって、古代出雲は「青銅器の国」として知られるようになりました。誰が？何のために？…未だ解けない多くの謎に、研究者たちは挑んでいます。今なお続く調査の様子や最新の研究を紹介しながら、古代出雲の実像に迫ります。

第3回 6月6日【古代史の宝庫 出雲文化の再発見】

島根県立古代出雲歴史博物館名誉館長・京都大学名誉教授 上田 正昭
古代出雲の文化は、出雲神話だけではありません。神庭荒神谷遺跡で、全国出土の銅剣約300本を越える358本が出土し、また加茂岩倉遺跡で銅鐸39個が見つかったのをみてもわかるように、弥生時代すでに先進地域でした。和辻博士が提唱された二大青銅器文化圏説は訂正する必要があります。そしてその伝統は、四隅突出型墳丘墓にうけつがれて、古墳文化の内容を多彩にしました。

第4回 7月4日【四隅突出型墳丘墓の世界 弥生王墓誕生】

島根県立古代出雲歴史博物館 主任学芸員 仁木 聡
出雲地域を中心に広く日本海側に分布する四隅突出型墳丘墓には、各地域の有力者が葬られ、やがて一辺50mを超える巨大な王墓が誕生します。最新の研究成果を交えながら四隅突出型墳丘墓の発生を丹念に解きほぐし、出雲の王を中心とした弥生社会を解明します。

第5回 8月1日【方墳の世界 出雲の古墳文化】

島根県古代文化センター 専門研究員 西尾 克己
前方後円墳の出現で始まる日本列島の古墳時代。しかし、出雲では方墳、前方後方墳が先ず採用され、遅れて前方後円墳が現れます。さらに、方墳と前方後方墳は後期に至るまで連続と築造されます。他地域ではみられない方墳の世界を堅持した出雲の古墳文化の特質とその意義を探ります。

第6回 9月5日【出雲国の支配者たちー出雲の後期古墳文化】

島根県立古代出雲歴史博物館 専門学芸員 角田 徳幸
出雲では、前方後方墳・石棺式石室・横口式家形石棺・横穴墓など特徴ある後期古墳文化が形成されました。日本列島の中でも異彩を放つこうした文化が何故生み出されたのか、その背景を考えます。



大念寺石室

■内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承下さい。
■観覧講座で募集締切日が異なりますので、お問い合わせ下さい。
■観覧申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承下さい。

※詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせ下さい。



名古屋・栄 中日文化センター
〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル
フリーダイヤル 0120-33-8164 (11時00分～19時00分)

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金(3,675円)が必要です。